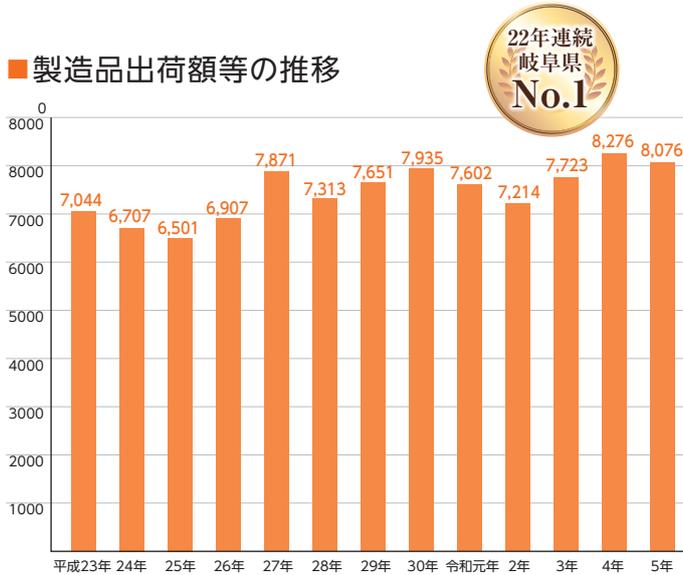


データで見る各務原市の産業

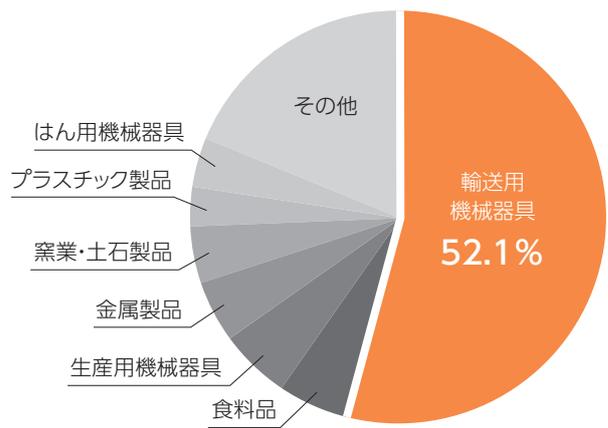
航空自衛隊岐阜基地がある各務原市には、航空機や自動車関連の工場が立地するほか、ITやロボット技術、医療など、先端産業の開発工場や研究施設などが集積するテクノプラザをはじめ、県金属団地や市工業団地など、さまざまな工業団地や機械金属工場が集積しています。

「ものづくりのまち」として発展してきた市の製造品出荷額等(市内で生産される製品の出荷額を示す)は、22年連続で県内第1位となっています。県内での市のシェアは、令和5年のデータで約12.0%。文字通り、県下No.1の「ものづくりのまち」として、不動の地位を誇っています。また、製造品出荷額等の業種構成を見ると、航空機や自動車などを中心とした「輸送用機械器具」が52.1%と、他の製品に比べ圧倒的に高い割合を占めています。



出典：経済産業省「工業統計」(平成23年、27年、令和2年は総務省「経済センサス活動調査」令和3年、4年、5年は経済産業省「経済構造実態調査」)

■ 製造品出荷額等の業種構成



出典：経済産業省「経済構造実態調査」

岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

「ものづくりのまち」という市の特性を活かした、国内最大級の「航空」と「宇宙そらはく」に関する専門博物館です(愛称:空宙博)。

敷地内には、多数の実機と実物大模型を展示しており、国内に1機しか現存しない飛燕の実機展示や、航空シミュレーターによる操縦体験、国際宇宙ステーション(ISS)日本実験棟「きぼう」の実寸大模型など見どころがいっぱいです。「空・宇宙への挑み～かかみがはらから日本へ、そして世界へ～」をコンセプトに、先人の空・宇宙への憧れ、挑戦の物語を伝え、子どもたちにチャレンジスピリットと感動を与える博物館です。



岐阜かかみがはら航空宇宙博物館



三式戦闘機二型「飛燕」